

「みんなで生命を守る」避難訓練－今回は地震から身を守る－

6月に入りました。

梅雨（大雨）の季節，そして私たち宮城県民が忘れてはならない「宮城県沖地震の日」（12日）を間もなく迎えます。

災害は時・場所を選ばずに，悪い条件（例えば大雨・大雪・極端な暑さや寒さなど）が重なって発生します。いかなる状況にも対応できるように，本校では訓練の想定や内容を変えて実施しています。

今回（6／3）の訓練は，大きな揺れを伴う地震が立て続けに起こるという想定の下，緊急地震速報が短い間隔で3回連続発表され，骨折する生徒・膝を擦りむく生徒・意識を失う生徒等が出たという設定で各自が身を守り，クラスの仲間そして担任が力を合わせてけが人を保護するというものです。

この日は，早朝に能登半島で地震が発生して緊急地震速報が出されました。それだけにどの生徒も緊張感を持って訓練に臨んでいました。

